福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	市営墓園管理事業							事業コード	040103540503		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	2 最期まで自分らしく生きられる「終活」の普及					施策コード	612			
事業担当	所属	021400 市民生活部市民課					所属長	大島 司			
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	03環境衛生費	会計	01 一般会計	決算附属資料	135	頁
計画期間	開始年度	昭和62年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	墓地・埋葬等に関する法律、福知山市墓園条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市営墓園は、市民に公平な埋葬の機会を提供するため設置したものであり、地域社会のニーズに応じて安心して利用できる供養の場を提供している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・市営墓園は長期的な維持や管理にコストがかかり、限られた予算の中で適切な対応が求められている。 ・後継者の不在や連絡の取れない墓地使用者等があり、一部の墓地の管理が困難になっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・市営墓園（長谷墓園、長田野墓園）の適切な維持管理を行い、市民に安心して利用できる供養の場を提供する。 ・新規墓地使用者からの永代使用料を基金に積み立て、適切な管理・運営を維持する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市営墓園（長谷墓園、長田野墓園）の維持管理を各管理組合に委託し、適切な環境を維持する。 ・墓所永代使用料を福知山市墓園基金に積み立て、管理・運営の安定化を図る。 ・宗教法人等による墓地経営許可申請に関し、適切に指導を行い、許可事務を実施する。

対象者	市民（両墓園使用者）	対象者数	375	単位あたりコスト	21.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	委託先　福知山市長谷墓園管理組合（長谷墓園）、福知山市長田野墓園管理組合（長田野墓園）					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	105	消耗品費			
役務費	40	郵送料、ごみ廃棄処理手数料ほか			
委託料	277	維持管理業務			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		730	435	458	0
	② 補正予算		1,100	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			1,830	435	458	
予算財源内訳	① 一般財源		35	23	19	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		1,795	412	439	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		1,830	435		
	③ 執行額		1,642	423		
	④ 執行率		89.7%	97.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		1.01 / 0.00	0.93 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		8,080	7,440		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			9,722	7,863		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	長谷墓園管理事業基金繰入（墓園基金）	基金繰入金	214	35	
	長田野墓園管理事業基金繰入（墓園基金）	基金繰入金	97	35	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	区画	417	417	417	417		
	維持区画数	当初見込		417	417	417	417	417	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市営墓園（長谷墓園・長田野墓園）の維持管理の実施、管理組合と連携した清掃・除草・設備点検の実施、墓園施設の適正な維持管理および補修の実施、墓園使用者への管理ルールの周知及び利用環境の整備、後継者の不在や連絡の取れない墓地使用者等の管理困難な墓地の把握整理及び適切な対応の検討								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・市営墓園（長谷墓園、長田野墓園）は、市及び各管理組合が維持管理を行っている。 ・墓園使用者が支障なく利用できるよう、今後も継続的な管理が必要である。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	・市営墓園の維持管理に必要な最低限の業務を法令に基づき実施し、墓地使用者の宗教的感情に配慮しつつ、公衆衛生や公共の福祉の観点から適切な維持管理を継続する。 ・後継者の不在や連絡の取れない墓地使用者等の管理困難な墓地について、対策を検討し、関係者と協議を進める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	斎場火葬棟運営管理事業							事業コード	040103540505		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	2 最期まで自分らしく生きられる「終活」の普及						施策コード	612		
事業担当	所属	021400 市民生活部市民課				所属長	松本 裕美				
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	03環境衛生費	会計	01 一般会計	決算附属資料	136	頁
計画期間	開始年度	平成8年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	斎場施設改修事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・斎場は、社会生活において必要不可欠な施設であり「墓地、埋葬等に関する法律」に基づき安定した火葬業務を提供している。 ・火葬業務は、公衆衛生その他の公共の福祉の観点から支障なく実施する必要があり、「墓地、埋葬等に関する法律」に基づき実施している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・福知山市斎場は、平成8年6月の施設開設から29年が経過し、建物や設備の老朽化が進行しているため、計画的かつ継続的な維持管理を行う必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・人生終焉の地にふさわしい施設として、葬祭棟・火葬棟の維持管理及び運営を行う。 ・使用者（遺族）が心穏やかに故人を見送ることができるよう、安全・安心で快適な施設環境を維持し、円滑な火葬業務を提供する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・今後も、遺族の心情に配慮し、安全・安心な管理運営を行う。 ・火葬件数の増加に対応できるよう、火葬炉設備等の保守点検及び定期メンテナンスを実施し、設備の長寿命化を図る。

対象者	斎場施設使用者	対象者数	20,000	単位あたりコスト	3.4	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	(株)五輪、（社）福知山市シルバー人材センター、㈱環境テクノス、島津システムソリューションズ㈱、川重冷熱工業㈱ ほか					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	16,183	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費（電気・水道・ガス）、修繕料			
役務費	493	通信運搬費（電話・郵送料）、廃棄物搬入手数料、保険料（自動車・建物）等			
委託料	36,684	機械設備等保守管理、警備、施設清掃、除草剪定、火葬業務等			
使用料及び賃借料	702	複写機使用料、機器等借上料、NHK受信料			
備品購入費	191	脚折りたたみ式テーブル、エンジンブロア、レースカーテン			
公課費	5	自動車重量税			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	56,061	55,710	60,424	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		56,061	55,710	60,424	
予算財源内訳	① 一般財源	23,791	22,001	19,521	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	32,270	33,709	40,903	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	56,061	55,710		
	③ 執行額	55,320	54,257		
	④ 執行率	98.7%	97.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.25 / 1.80	1.21 / 1.80	/	/
	② 概算人件費	15,040	14,720		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		70,360	68,977		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	葬祭棟等使用料	衛生使用料	5,966	8	
	斎場一部使用料	衛生使用料	48	8	
	火葬棟使用料	衛生使用料	22,025	8	
	金属くず（斎場）	物品売払収入	19	32	
	有価物（斎場）	物品売払収入	5,422	32	
	ほか		48		

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1,115	1,102	1,069	1,041		
	火葬件数	当初見込		1,000	1,000	1,000	1,100	1,100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	「墓地、埋葬等に関する法律」に基づき、火葬業務を適正に実施するとともに、葬祭棟等の施設を適切に維持管理し、斎場使用者へ提供する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・斎場は施設開設から29年が経過し、設備等の経年劣化が進んでいるが、保守点検業務等を適切に実施した結果、火葬業務に支障なく運営することができた。特に、周辺大気及び排ガス測定については、地元自治会との協定に基づき毎年度2回実施し、測定結果は環境目標値及び基準値を超えることはなく、良好な環境衛生を維持することができた。 ・斎場周辺の長田野運動公園や西奥池広場等についても、関係課と連携して除草・伐採などの環境整備・保全を行い、周辺環境の美化に努めた。
現状の課題に対する改善策	火葬炉等の長寿命化を図るため、日常の清掃、点検及び定期的なメンテナンスを継続して実施するとともに、火葬炉設備への負荷軽減を図るため、遺族及び葬祭業者に対し、副葬品の適正化について周知を徹底する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	法（墓埋法及び行旅法）による死亡人等取扱事業							事業コード	030101420316		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	2 最期まで自分らしく生きられる「終活」の普及						施策コード	612		
事業担当	所属	150200 健康福祉部社会福祉課				所属長	高山 明子				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	01社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	96	頁
計画期間	開始年度	昭和25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	行旅病人及び行旅死亡人取扱法・墓地、埋葬等に関する法律・福知山市行旅病人、行旅死亡人及びこれらの同伴者の救護又は取扱いに関する規則										
事業区分	☑ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☐ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☑ その他　（ 国府負担事業 ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・市内において死者が発見され、警察の調査により身元が判明せず、遺体の引取者がないことがある。 ・親族関係の希薄化や、独居高齢者の増加、貧困化により遺体の引き取り拒否や火葬等の実施を拒否する事態が増加傾向にある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・身元が判明せずとも、速やかに葬祭を執行し、発生事象について公表する必要がある。 ・生前に、死後どのように身辺の整理を行うか検討をしている方がまだまだ少なく、また、困窮世帯においてはそのような検討をする余裕がない状態がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・市内において身元不明で遺体を引取る人がない死者（行旅死亡人）が発見された場合に、行旅病人及び行旅死亡人取扱法に基づき、葬祭等を行うとともに当該案件について公告を行う。 ・市内において身寄りのない方が亡くなられ、葬祭執行人がない場合に、墓地、埋葬等に関する法律に基づき、市長が葬祭執行人となり火葬等を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・警察、もしくは病院・施設からの連絡を受け、遺体の安置、葬祭執行の準備を行う。 ・相続人調査および遺留品調査を行い、相続人がいれば連絡を行い遺体の引き取りを依頼する。（墓埋法） ・葬祭執行、葬祭事業者への支払。（行旅法・引き取り手がいなかった場合の墓埋法） ・当該案件について公告を行う。（行旅法） ・遺留金から葬祭費の充当を行い、不足分は京都府負担金にかかる事務処理を行う。

対象者	行旅病人及び行旅死亡人、葬祭執行人がいない死亡人	対象者数	2	単位あたりコスト	2,136.5	
実施方法	☑ 直接実施　☐ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
扶助費	3,553	行旅病人救護費、火葬費・埋葬費			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		480	440	440	0
	② 補正予算		0	2,598	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			480	3,038	440	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		480	3,038	440	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		807	515		
	② 配当予算		1,287	3,553		
	③ 執行額		1,287	3,553		
	④ 執行率		100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.11 / 0.00	0.09 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		880	720		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			2,167	4,273		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	行旅病人救護費用	民生費府負担金	2,597	20	
	墓地、埋葬等に関する法律に基づく遺留金	雑入	174	46	
	墓地埋葬法による死亡人埋葬	衛生費府負担金	279	21	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	0	0	0	0		
	行旅死亡人の人数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	0	0	0	0		
	葬祭執行実績	当初見込		0	0	0	0	0	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市内において身元不明で遺体の引取る人がない死者（行旅死亡人）が発見された場合に、行旅病人及び行旅死亡人取扱法に基づき、葬祭等を行うとともに当該案件について公告を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	2	2	5	3		
	市内死亡人対応件数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2	2	5	3		
	葬祭執行件数	当初見込		0	0	0	0	0	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市内で発生した引き取りのない遺体を火葬、埋葬を行う								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	平成以降初めての行旅病人が発生し救助を行った。 救助後は住民票の仮登録に繋げ、生活保護につなぎ、継続的に支援を行っている。 墓埋法に基づき、身寄りのない死亡者の火葬・埋葬を行った。 墓埋法に関しては、親族が全くいないだけでなく、死亡後に引き取り可能な人がいない方も増えてきている。
現状の課題に対する改善策	世代を問わず、自分の人生のビジョンを考えられる機会を増やすことが、身寄りのない人や死亡後に引き取り可能な人がいない状況の人を少しでも減らすことにつながるものと考える。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	介護保険施設サービス費						事業コード	020101420518	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	2 最期まで自分らしく生きられる「終活」の普及					施策コード	612	
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広			
会計情報	款	02保険給付費	項	01保険給付費	目	01介護サービス等諸費	会計	15 介護保険	決算附属資料 249 頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 国府負担金事業 ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 要介護認定者に対して提供した特別養護老人ホームや介護老人保健施設等の介護施設サービスに係る給付費 (介護保険サービス量の増加は、介護保険給付費の増加を招くことになり、介護保険料へも影響を及ぼすこととなる。このため、3か年を計画期間として介護保険計画を立て、当該計画の中で介護保険サービスの事業量の見込みを立てることとしている。現計画は、第10次福知山市高齢者保健福祉計画で、令和6年度から令和8年度までを計画期間としている。）

対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者	対象者数	5,000	単位あたりコスト	528.5	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	2,642,038	介護給付費負担金（各サービス事業費に要した費用）			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	2,629,355	2,665,075	2,696,747	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		2,629,355	2,665,075	2,696,747	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	584,883	585,278	578,451	
	③ 府支出金	460,137	466,388	471,930	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,584,335	1,613,409	1,646,366	
決算情報	① 流充用額	6,292	0		
	② 配当予算	2,635,647	2,665,075		
	③ 執行額	2,635,647	2,642,038		
	④ 執行率	100.0%	99.1%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	400	400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		2,636,047	2,642,438		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額	決算附属資料		頁
		現年度分		第1号被保険者介護保険料	558,239		243	
		介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金	405,658		243	
		現年度分		調整交付金	174,984		243	
		介護給付費交付金現年度分		介護給付費交付金	721,287		244	
		介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金	469,292		244	
		その他一般会計繰入金ほか			312,578			

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	9,743	9,699	9,500	9,405		
	介護保険施設サービス給付利用者数	当初見込		10,692	10,872	9,816	9,936	10,056	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	介護保険施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院）に入所している要介護者に対して施設サービスに係る費用を支給する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。 介護保険法等により市が実施することとされている介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 令和6年度から令和8年度については、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	特定入所者介護サービス給付費						事業コード	020101420553		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施策名	2 最期まで自分らしく生きられる「終活」の普及					施策コード	612		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広				
会計情報	款	02保険給付費	項	01保険給付費	目	01介護サービス等諸費	会計	15 介護保険	決算附属資料	250 頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	介護保険法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 国府負担金事業 ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 特定入所者介護サービス(施設入所者の居住費や食費負担分)に係る給付費 (介護保険サービス量の増加は、介護保険給付費の増加を招くことになり、介護保険料へも影響を及ぼすこととなる。このため、3か年を計画期間として介護保険計画を立て、当該計画の中で介護保険サービスの事業量の見込みを立てることとしている。現計画は、第10次福知山市高齢者保健福祉計画で、令和6年度から令和8年度までを計画期間としている。)

対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者	対象者数	5,000	単位あたりコスト	34.8	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
負担金補助及び交付金	173,296	介護給付費負担金(各サービス事業費に要した費用)			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	253,948	255,915	258,708	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	253,948	255,915	258,708	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	56,489	56,202	55,493	
	③ 府支出金	44,441	44,785	45,274	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	153,018	154,928	157,941	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	253,948	255,915		
	③ 執行額	183,790	173,296		
	④ 執行率	72.4%	67.7%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	0.11 / 0.00	0.11 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	880	880		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		184,670	174,176		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称		種類		実績金額	決算附属資料		頁
	現年度分		第1号被保険者介護保険料		36,591		243	
	介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金		26,608		243	
	現年度分		調整交付金		11,478		243	
	介護給付費交付金現年度分		介護給付費交付金		47,258		244	
	介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金		30,782		244	
	その他一般会計繰入金ほか				20,579			

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	6,633	6,547	6,427	6,276		
	特定入所者介護サービス給付件数（食費）	当初見込		0	0	0	0	0	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	所得の低い人を対象に基準費用額から負担限度額を差し引いた分を特定入所者介護サービス費として支給する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	6,285	6,233	6,130	6,269		
	特定入所者介護サービス給付件数（居住費）	当初見込		0	0	0	0	0	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	所得の低い人を対象に基準費用額から負担限度額を差し引いた分を特定入所者介護サービス費として支給する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。 介護保険法等により市が実施することとされている介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 令和6年度から令和8年度については、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	在宅医療介護連携推進事業					事業コード	030201420579			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施策名	2 最期まで自分らしく生きられる「終活」の普及				施策コード	612			
事業担当	所属	150700 健康福祉部地域包括ケア推進課			所属長	塩見 康代				
会計情報	款	03地域支援事業費	項	02包括的支援事業・任意事業費	目	01包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	会計	15 介護保険	決算附属資料	251 頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	介護保険法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 令和5年度の厚生労働省によるアドバイザー事業を受け在宅医療介護に関する取組みを実施し、それぞれの取り組みにつながりがないという現状を整理することができた。現在は、事業で整理できた課題について専門職からなる協議体を発足し、取り組みについて検討を行っている。 令和5年度に引き続き、『看取り』をテーマに市民啓発事業を福知山医師会・京都府中丹西保健所とともに開催している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 医療・介護連携に関わる専門職の連携について差があり、各団体のなかでも取り組みにばらつきが生じている。 多職種の研修を企画しても、参加する職種について限定的であり、広く参加がない。 市民啓発について、看取りに対する関心は高かったが、継続的な実施に向けて再検討が必要。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 高齢化が進展する中、できる限り住み慣れた自宅や地域で最後まで暮らし続けることができるよう、必要に応じて在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・多職種連携研修会の実施 ・職種同士の意見交換の場設定 ・専門職の代表からなる協議会の継続的な開催 ・市民に向けた啓発事業の実施

対象者	医療・介護連携に関わる機関、医療介護に関心のある市民	対象者数	1,857	単位あたりコスト	4.0
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	162	在宅医療・介護連携に係る協議会　報償費			
旅費	29	在宅医療・介護連携に係る協議会　旅費			
役務費	1	郵送料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	293	292	291	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		293	292	291	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	113	112	121	
	③ 府支出金	56	56	56	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	124	124	114	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	293	292		
	③ 執行額	240	191		
	④ 執行率	81.9%	65.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.95 / 0.88	0.90 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	10,064	7,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		10,304	7,391		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	現年度分（国）	73	244	
	地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	現年度分（府）	37	245	
	介護給付費等繰入金	介護給付費等繰入金	37	245	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	箇所	82	82	99	106		
	医療・介護・福祉総合ビジョン関係者の共有 （医療機関87、介護事業所148）	目標値		235	235	235	0	235	
		達成度	%	35%	35%	42%	—		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	項目	8	8	8	8		
	在宅医療介護推進事業8項目実施状況	当初見込		8	8	8	8	8	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	多職種に対して研修会の実施。意見交換会の設定。 市民向け啓発事業の実施。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	医療介護連携に係る協議会において、各職種における現状等を情報共有し、多職種への理解を深めることができた。 一方、専門職全体としての意見が把握できない点が課題である。 市民啓発について、福知山医師会・中丹西保健所と協働し看取りについて啓発する機会を作ることができている。今後も継続した啓発活動が必要である。
現状の課題に対する改善策	専門職団体の中で意見を集約してもらえるよう、協議体にて働きかけながら事業を進める。 市民啓発の継続した開催に向け、医師会、保健所と連携し取組みを実施する。 多職種の研修に広く参加者を募るため、専門職の代表からなる協議会等で呼びかけを行い、専門職間や事業所内での情報共有を求める。